



学校だより

< 家庭数 > 第4号
令和8年 6月30日発行
品川区立第四日野小学校
校長 萩原 忠幸
<http://school.cts.ne.jp/hino4/>

知識にはストーリーがある

副校長 福田 英史

「ピーツピ ピーツピ チヂチ。」小鳥のさえずりが聞こえてきたとします。皆様は、何を思いますか。「自然が豊かな。」「気持ちの良い朝だな。」etc. 稀に、「何を話しているのかな。」と思う人がいるかもしれません。しかし、「何を話しているのかな。」と思ったとしても、鳥が会話をしていると信じてはいけませんよね。

実は、「ピーツピ ピーツピ チヂチ。」というシジュウカラの鳴き声は、「ピーツピ」が『警戒』、「チヂチ」が『集まれ』という単語を合わせた文で「警戒 警戒 集まれ」という意味があり、シジュウカラが集まってくるそうです。（「チヂチ ピーツピ ピーツピ」と、単語の配列が違えば意味をなさず、集まらないそうです。）

「知っている。知っている。」という方も多いと思います。東京大学先端科学技術研究センター准教授 鈴木 俊貴先生。生物学者で、動物言語学という新しい学問を提唱。シジュウカラなどが独自の「言葉」や「文法」をもつことを、独自の観察によって、初めて証明した方です。NHKの特集番組を見て、鈴木 俊貴先生存在は知っていたのですが、昨年、講演を聞く機会がありました。興味深いお話ばかりでしたが、夏休みも近いので、印象に残っていることを2つほどご紹介します。

1つ目は、ご両親のことです。鈴木先生は、子どもの頃から生きもの観察が大好きで、自分の虫好きへの対処として、両親が都内在住から茨城県に転居してくれる程だったそうです。お陰で、鈴木先生が、生き物の観察に没頭できる反面、お父様は片道2時間もかけて職場に通っていました。お母様は、図鑑に書いていないことを見つけ、図鑑に書き込んでごらんとアドバイスを送ったそうです。子どもの才能を見抜く目。伸びる環境を作る実行力。このご両親はすごいなと思いました。

2つ目は、常識にとらわれない発想。疑問に思ったことをとことん探求する姿勢です。『言葉を使うのは人間だけ』誰もが当たり前だと思い、異を唱えることはありませんよね。まして、鳥が文章を話し、理解するなんて言ったら、一笑に付されるのが落ちですから。だからこそ、自分の考えが正しいことを証明する方法を考え、独自の研究スタイルを確立し、20年間観察し続けた。動物言語学が脚光を浴び、同じような研究をする人が出てきたとしても、自分を超越することはないという自負には、子どもの頃の観察の経験による裏付けが影響しているそうです。

鈴木先生は言っています。「子どもの頃、図鑑に載っていないことを発見し、記録していくことを親から教えてもらった。その頃、図鑑はすごいと思っていたけれども、その後の経験で、親や教師の存在もとても重要であることが分かった。今は子どもが受験勉強ばかりで、知識をインターネットに頼って知ることが主流になってしまっている。体験学習の機会が減っているように感じる。身近な鳥の声など体験を通して学べることをもっと子どもに教えてほしい。」生きた知識には、物語があります。その知識と出会った時の出来事、思い出、ドキドキ感。子どもたちが、この夏、たくさんのわくわくストーリーに出会えるとよいですね。親子で理科の自由研究に取り組んでみるのもお勧めです。

7月の生活目標

「安全に気を付けて生活します。」

本校では、月に1度、水曜日の放課後に、「見回りDAY」という下校時の様子を教員が見て回る機会があります。多くのお子さんは、交通ルールを守って元気よく「さようなら。」と挨拶をしてくれます。ただ、何人かのお子さんは、横を通り過ぎてまもるっちを見ていたり、友達との話に夢中になってたりして、気が付かない人たちがいます。その際は、声を掛けますが、車や自転車にぶつからないか心配になります。もう少しで夏休みです。楽しく夏休みが迎えられるように安全に気を付けて生活しましょう。

【お知らせとお願い】

【保護者会】

7月10日(金)1～3年 14:00～
4～6年 14:45～

各会場に付きましては、既に配布いたしました。「保護者会のお知らせ」をご覧ください。

【個人カルテ配付】

1学期に行ったワークテストについての個人カルテを㊟封筒に入れて夏休み前に配付いたします。
㊟封筒は9月1日(火)に持たせてください。

【学校閉庁日・夜間等電話委託対応休止】

8月10日(月)～16日(日)は学校閉庁日となります。教職員の勤務はございません。それに伴いまして、8月7日(金)午後5時～8月17日(月)午前8時まで夜間委託電話は休止となります。